

師走

2025 年 12 月 31 日

野中健司



2025 年 12 月 6 日 13 時 20 分 ほぼ準備が済んだ会場風景

「提灯竿もみ祭」は「お帰り」とも言い、隣町の野木神社の神様が 12 月 3 日に七郷めぐりから、夜に神様が帰ってくるのを、横町でお迎えした際に、寒さから体を温めるために、提灯竿を揉み合いして迎えたのが。そのルーツと言われている。奇祭として知られ、まだ TV がない時代の昭和 30 年代であろうか？NHK ラジオの実況放送を聴いていたのを記憶している。





祭りの喧騒、祭り会場周囲の道路や駅弘には屋台が並び、和太鼓集団などが祭りを盛り上げていた

2025 年 12 月 6 日 19 時ごろの沿道、奥に見える提灯の灯りが祭り会場である。



2018 年 12 月 1 日であるが、アプリ古河の駐車場の最上階から祭り会場を撮る。



2025 年 12 月 6 日 12 時 6 分

公方様の森の下草刈り(ボランティア作業)



2025 年 12 月 6 日 12 時 10 分 雑木林は、葉も大分落ちて、空が良く見える。



2025 年 12 月 6 日 12 時 30 分 管理棟の南側、ドウザンツツジの黄葉が庭園美を見せていた。



2025 年 12 月 11 日 14 時 24 分 公方様の森冬の陽に輝き、御所沼の柳は影絵の佇まいを見せていた。



2025 年 12 月 11 日 14 時 30 分

イイギリの赤い実がびっしりとつき、モミジの紅葉にも見える。樹形は違うが。



2025 年 12 月 11 日 14 時 45 分 新久田道は既に冬景色



2025 年 12 月 11 日 14 時 50 分 鴨は 70 羽くらい見える。



2025 年 12 月 14 日 14 時ごろ ビオトープの手入れする市民



12月28日14時ごろ 蓮池を見晴らす藤棚で穏やかな日和の語らい。



12月28日14時ごろ 中山台 12月としては、おだやかな日和にゆったりと遊ぶ親子



12月28日14時過ぎ 城山下の掘り割りでは、午後でも溶けずにまだ薄氷が張っていた。



2025 年 12 月 31 日 16 時 30 分 雀神社の堤防から、夕日に浮かぶ影富士

土手には、日没に合わせてるように、多くの人が土手にあがってきた。

遊水地越しの夕日はそのスケール感からしても見事としか言いようのないものである。